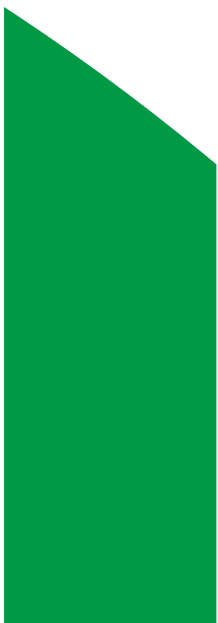


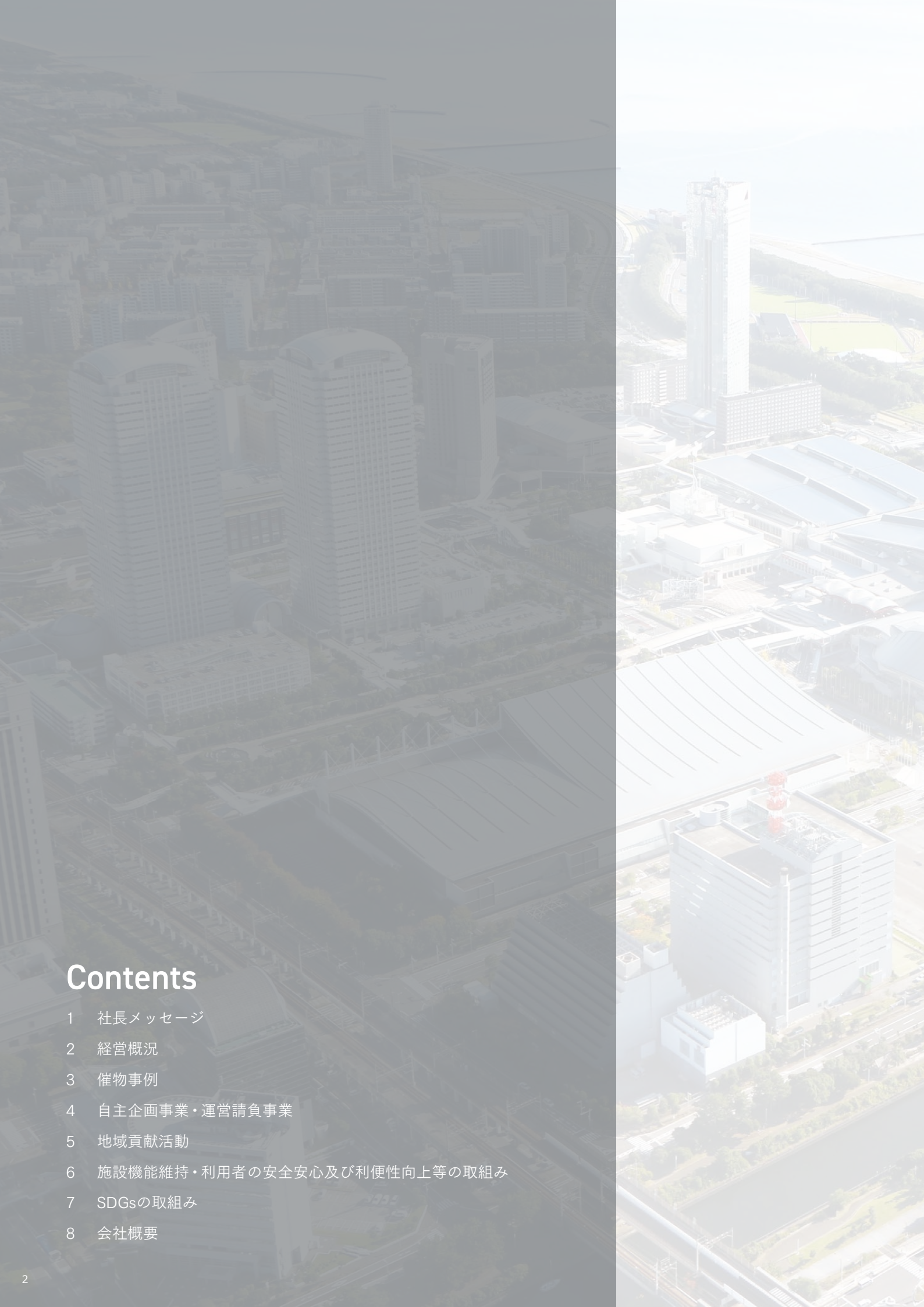
文化が集まる、未来が集まる。



ANNUAL REPORT

2024



An aerial photograph of a city, likely Tokyo, featuring a large stadium with a distinctive white, ribbed roof in the foreground. Several tall skyscrapers are visible in the background, and the city extends to the waterfront. The image is split vertically: the left half is a faded, grayscale version of the same scene, while the right half is in full color.

Contents

- 1 社長メッセージ
- 2 経営概況
- 3 催物事例
- 4 自主企画事業・運営請負事業
- 5 地域貢献活動
- 6 施設機能維持・利用者の安全安心及び利便性向上等の取組み
- 7 SDGsの取組み
- 8 会社概要

1

社長メッセージ

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当社は、1989年10月にオープンした日本初の本格的複合型コンベンション施設「幕張メッセ」の運営主体です。創業以来、「我が国コンベンション産業のパイオニアとして、ハード・ソフト共に世界に通用する施設を目指す」「地域の経済発展に貢献し、共生を目指す」の2つの経営理念を掲げ、産業展示会、学会、音楽フェス、更にはコンテンツ系イベントなど、多様多彩且つ多数の催物を当社の複合施設にて開催してまいりました。

幕張メッセは2024年10月に開業35周年を無事迎えることができました。改めて、これまで当社及び当施設を支えてくださいました主催者様、施工・運営等関連事業者様、近隣の皆様、株主様、そしてご来場者様のご厚情に深く感謝申し上げます。

さて、2024年度は、経済の緩やかな回復やインバウンド需要の高まりに伴い、産業展示会をはじめとする多くの催物が開催された一年となり、国際展示場、国際会議場、幕張イベントホール全ての稼働実績に加えて来場者数も前年度を上回りました。今後も、継続利用者に対するサービス提供に万全を尽くしつつ、新規利用者の発掘・誘致に努め、更なる利用促進を進めてまいります。

一方で、施設として解決すべき課題もあります。開業から35年が経過し、設備・機器の老朽化が進行していることから、施設の貸出し制限を伴う大規模修繕が必要となっています。2024年度には2つの展示ホールにて貸し止めを伴う改修工事を実施しました。施設が提供できる価値を高めるためには、技術の進歩やニーズの変化に対応した設備等の導入も必要となることから、ご利用いただいている皆様の利便に十分配慮しつつ、幕張メッセが現に地域経済等において果たしている貢献を永続させるべく、各種対策を講じていく所存です。

2025年度におきましては、

- 1 千葉県の産業振興に資する展示会の誘致促進
- 2 安定した経営基盤の確保
- 3 利用者、来場者の満足度の向上
- 4 地域貢献の積極的な推進と、これによる幕張新都心地区の魅力の発信

の4つの方針を定めて事業に取り組んでまいります。

今後も、幕張新都心の中核施設として、また日本有数のコンベンション施設として、地域経済並びに展示会産業等の発展に寄与すべく努めてまいりますので、引き続き、当社への変わらぬご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
今清水 浩介

幕張メッセは、千葉県が所有する国際展示場と、当社が所有する国際会議場及び幕張イベントホールの、3つの異なる機能を併せ持つ国内有数の複合MICE施設です。当社は、千葉県の指定管理者として管理する国際展示場と自社保有の2施設を一体的に管理運営し、MICEに関する多様なサービスを一元的に提供しています。

また、施設の貸出業務の他、自主企画イベントの開催や、管理運営ノウハウ等を活用して主催者から一部業務を受託・代行する請負事業、施設利用者等の利便性向上に寄与するレストラン・物販等の関連サービスの提供などの事業を併せて実施しています。

2024年度における各施設の稼働状況をはじめとする当社経営の概況は以下のとおりです。

1 国際展示場

15年ぶりに「JAPAN MOBILITY SHOW BIZWEEK」が開催されたのをはじめ、飲料・液状食品の開発・製造展の「ドリンクジャパン」、食品工場の自動化・省人化等を実現する先端技術が一堂に会する「食品工場Week」、人手不足解消や集客支援等の最新サービスが出展する「飲食業界イノベーションWeek」を誘致しました。また、コンテンツ制作・映像・CG制作・広告デザイン等の最先端の展示会「コンテンツ東京」、業務効率化・働き方改革・経営基盤強化を実現するためのDXソリューションが一堂に集う日本最大級のDX総合展「DX総合EXPO」を誘致することができました。

「ニコニコ超会議」、「建設・測量生産性向上展」、「東京ゲームショウ」、「CEATEC」、「高機能素材Week」、「東京オートサロン」、「スーパーマーケット・トレードショー」などの大型展示会・イベントも例年どおり開催されるとともに、「SUMMER SONIC」、「COUNTDOWN JAPAN」をはじめとする大型音楽フェスティバルや、「サカナクション」、「Vaundy」、「氣志團万博」などの国内著名アーティストのコンサート等も多数開催されました。

この結果、年間の利用ホール数は、前年度（2,136.5ホール）を上回る2,371.0ホールとなりました。

2 国際会議場

上期は「国際フォトポリマーコンファレンス」、「国際磁気共鳴医学会」などの国際会議や、「日本顕微鏡学会」、「日本補綴歯科学会」、「日本在宅医療連合学会」などの国内学会、「関東地区高等学校PTA連合会大会」、「全国保育士養成セミナー」などの大会が開催されました。

下期には、「日本腰痛学会」や「日本医療薬学会」、「日本神経治療学会」、「日本臨床細胞学会」、「日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会」、「日本解剖学会、日本生理学会、日本薬理学会3学会合同学会」、「日本応用動物昆虫学会」などの国内学会が開催されました。

さらに、展示会関連セミナーや、資格試験、就職関連イベント、大学入学試験等が開催された結果、年間の稼働率は前年度（46.4%）を上回る48.7%となりました。

3 幕張イベントホール

上期は「神田外語大学」をはじめ「東邦大学」、「千葉工業大学」の入学式や、「ニコニコ超遊戯」、「Fantasy on Ice」、世界最高峰のアクションスポーツの国際競技大会「X GAMES CHIBA」などの各種イベントが開催され、「THE BONEZ」、「櫻坂46」、「宮世琉弥」などのコンサートも開催されました。

下期には、「全国土地改良大会」の式典や「SIXFONIA」、「WATWING」、「刀剣乱舞」など国内外アーティストによるコンサート、テレビ番組の生放送音楽イベント、スポーツイベントも開催された結果、年間の稼働率は、前年度（62.0％）を上回る69.9％となりました。

4 来場者数

当年度の来場者数は、催物開催件数の増加などにより前年度比12.9%増の526.1万人となり、コロナ禍前の水準には及ばないものの、着実に回復しています。

なお、当施設開設以来の累計来場者数は1億9千万人を上回っています。

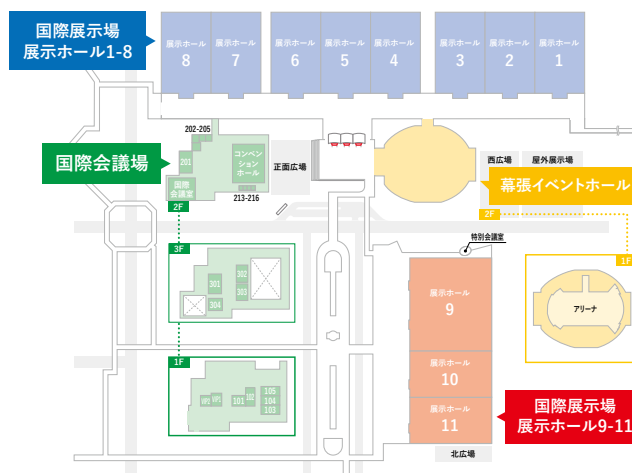
	2023年度	2024年度	増減数	増減率
来場者数（千人）	4,656	5,261	605	12.9%

5 損益財政状況

当年度の売上高は、催物数や来場者数の増加などから、施設使用料収入、レストラン等関連事業収入が増加した結果、前年度比約12.2%の増収となりました。損益面においても、増収効果等から当期純利益は同じく約23.2%の増益となりました。また、財政状態を示す自己資本比率も88.7%と引き続き健全な水準を維持しています。

	2023年度	2024年度	増減率
売上高（百万円）	4,824	5,412	12.2%
経常利益（百万円）	407	503	23.5%
当期純利益（百万円）	276	340	23.2%
自己資本比率（％）	88.5	88.7	-

（注）金額は百万円未満切り捨て



（参考：施設配置）

(注)来場者数、出展社数、海外参加国数などの情報はいずれも主催者調べ。



CEATEC 2024+ JAPAN MOBILITY SHOW BIZWEEK 2024

CEATEC(シーテック、Combined Exhibition of Advanced Technologies) 2024は、「Toward Society 5.0」のコンセプトの下、開催テーマとして「Innovation for All」を掲げ、「経済発展と社会課題の解決を両立する『Society 5.0』の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、『共創』によって未来を描く」を趣旨として開催された、デジタルイノベーションの総合展です。海外出展者25か国158社を含む808社の出展がありました。

JAPAN MOBILITY SHOW BIZWEEK 2024は、モビリティ関連企業と次世代を担うスタートアップによる、ビジネス共創を生み出すビジネスイベントとして、前身の東京モーターショー以来15年振りに当展示場にて開催され、203の企業・団体の出展がありました。

両展示会は、国際展示場 展示ホール1～8等にて4日間、併催イベントとして連携して開催され、約11.2万人の来場者がありました。

「CEATEC 2024」

主催 一般社団法人 電子情報技術産業協会

「JAPAN MOBILITY SHOW BIZWEEK 2024」

主催 一般社団法人 日本自動車工業会

開催期間 (両催物共に) 2024/10/15～10/18



第59回スーパーマーケット・トレードショー 2025/デリカテッセン・トレードショー 2025/第20回こだわり食品フェア 2025

スーパーマーケットを中心とする食品流通業界に最新情報を発信する商談展示会で、全国の小売業をはじめ、卸・商社、中食、外食などから、多数のバイヤーの方々が来場されるイベントです。

国際展示場全館(展示ホール1～11)等にて、3日間、3展示会合同で開催され、合わせて2,417社が出展し、約7.7万人の来場者がありました。

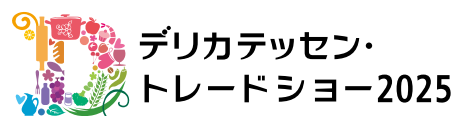
「第59回スーパーマーケット・トレードショー 2025 / デリカテッセン・トレードショー 2025」

主催 一般社団法人 全国スーパーマーケット協会

「第20回こだわり食品フェア2025」

主催 一般財団法人 食品産業センター

開催期間 2025/2/12～2/14





APPW2025 第130回日本解剖学会・ 第102回日本生理学会・第98回日本薬理学会 合同大会

我が国を代表する基礎医学系学術団体の3学会により、今回初めて合同大会として国際会議場にて開催されました。

3学会合同大会ならではのスケールメリットを活かし、複数の学術分野における多様な学術交流が行われ、オンデマンド配信を含め、4,500人を超える方が参加され、盛会のうちに終了しました。

主催 第130回日本解剖学会総会・全国学術集会 会頭 渡辺 雅彦(北海道大学大学院医学研究院)
第102回日本生理学会大会 大会長 成瀬 恵治(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)
第98回日本薬理学会年会 年会長 赤羽 悟美(東邦大学医学部)

開催期間 サテライト・プログラム：2025/3/16
現地／一部ハイブリッド：2025/3/17～3/19
オンデマンド配信：2025/3/25～4/14

APPW2025

第130回 日本解剖学会／第102回 日本生理学会／第98回 日本薬理学会合同大会
The 130th Annual Meeting of the Japanese Association of Anatomists (JAA)・The 102nd Annual Meeting of the
Physiological Society of Japan (PSJ)・The 98th Annual Meeting of the Japanese Pharmacological Society (JPS)



2025スーパージャパンカップダンス

全日本セグエ選手権、全日本選抜ダンス選手権など複数の選手権が集中して開催されるボールルームダンスの競技会が、幕張イベントホールにて開催されました。

通常競技の他に、セグエというドラマチックで独創的な競技が行われ、技術はもとより衣装やメイク・音楽的表現など、見どころ十分な大会で、延べ1,048組(2,096人)が熱演を繰り広げ、約7,500人の来場者がありました。

主催 公益財団法人 日本ボールルームダンス連盟
開催期間 2025/3/1～3/2



JAPAN
Ballroom Dance
Federation (JBDF)



国際会議場

国際展示場 展示ホール1-8

国際展示場 展示ホール9-11

幕張イベントホール

自主企画事業・運営請負事業

当社では、各施設を主催者の皆様にご提供するだけでなく、共催者の皆様との協力の下、催物を自ら企画し、開催しています。また、イベント主催者のパートナーとして、幕張メッセ施設や周辺を熟知したスタッフが運營業務を請負う事業も行っています。

1 自主企画事業



ピーアークpresents

幕張メッセ“どきどき”フリーマーケット2024

海浜幕張地区の賑わい創出を目的として1997年から開催し、今ではすっかりゴールデンウィークの風物詩イベントとして定着しました。コロナ禍の中、2020年、2021年は開催中止となりましたが、2022年に再開し、多くのお客様から開催復活を喜ぶ声をいただきました。約4,000件の出店、約13万人の来場者で賑わいました。

主 催 幕張メッセ“どきどき”フリーマーケット
実行委員会（幕張メッセ／BAYFM）

開催期間 2024/5/3～5/5

会 場 国際展示場 展示ホール1～6



キョーリン製薬グループpresents

超からだのひみつ大冒険2024

夏休みの子ども向けイベントとして、44日間に亘り、遊びながら学べる体験型科学イベントを開催しました。私たちのからだの中で起こっている不思議なことや臓器の役割を映像、グラフィック、アトラクションを通して楽しみながら実感できるイベントで、ファミリー層を中心に約11万人の来場者で賑わいました。

主 催 超からだのひみつ大冒険2024実行委員会
（幕張メッセ／ドリームスタジオ／BAYFM）

開催期間 2024/7/20～9/1

会 場 国際展示場 展示ホール11





マクハリハンドメイドフェスタ 2024 Supported by 千葉デザイナー学院

「幕張メッセ“どきどき”フリーマーケット」内の、ハンドメイド作品限定の出店エリア「手づくりアートマーケット」を発展させ、ハンドメイド作品の展示即売イベントとして2018年より冬の時期に開催しています。約1,600件の出店、約1.4万人の来場者で賑わいました。

主催 マクハリハンドメイドフェスタ実行委員会
(幕張メッセ／BAYFM)

開催期間 2024/12/14～12/15

会場 国際展示場 展示ホール4～5



COUNTDOWN JAPAN 24/25 Supported by au

年末から年越しに開催される日本有数の音楽フェス「COUNTDOWN JAPAN」を株式会社 ロッキング・オン・ジャパンと共に2003年より主催しています。4日間で110組を超えるアーティストが出演し、約16万人の来場者がイベントを楽しみました。

主催 ロッキング・オン・ジャパン／幕張メッセ

開催期間 2024/12/28～12/31

会場 国際展示場 展示ホール1～8
幕張イベントホール



rockin'on sonic

往年のロックファンを対象に、海外アーティストが多数出演する新たな洋楽フェスとして株式会社 ロッキング・オン・ジャパンと共に開催しました。高い評価を得ているCOUNTDOWN JAPANのステージや映像設備を最大限活用し、初開催にもかかわらず約2.3万人の来場者がイベントを楽しみました。

主催 ロッキング・オン・ジャパン／幕張メッセ

会場 国際展示場 展示ホール4～8

開催期間 2025/1/4～1/5

2 運営請負事業

学術集会をはじめ13件（小規模のものを除く。）の催物について運営業務を担いました。

当社の持つ運営のノウハウを生かし、技術・施設利用・事務等あらゆる面で主催者をサポートし、イベントの成功に努めています。さらに地元に根差した企業の強みを生かし、アフターコンベンションなど地域の魅力を主催者や来場者に伝える橋渡しの役割も担っています。

主な運営請負実績

- 日本顕微鏡学会 第80回学術講演会
- 令和6年度公益社団法人日本看護協会通常総会及び全国職能別交流集会
- 第6回日本在宅医療連合学会大会
- 第52回日本磁気共鳴医学会大会
- 第46回全国土地改良大会千葉大会
- 第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会／第30回千葉県理学療法学会 合同大会
- 第63回日本臨床細胞学会秋期大会

地域貢献活動

人、情報、文化、技術などが集い、出会い、交わり、拡がり、そしてシナジーや外部波及などを通じて新たな価値創造に繋がって行く、そのような場所と機会を提供することが当社の仕事（使命）です。従って、当社が所有・管理する施設や付随するサービスなどを効果的に提供することそのものが地域振興・貢献に直結するものと考えています。当社が自主企画している前述のフリーマーケットやハンドメイドフェスタなどの催物においても、地域貢献を重要な目的の一つと捉えて取組んでいます。

加えて、周辺の皆様と連携した地域振興施策及び環境保全に向けた取組みも実施しています。

マクハリイルミ24/25

海浜幕張駅周辺の冬の夜を華やかに演出するイルミネーション「マクハリイルミ」に、実行委員会メンバーとして積極的にかかわり、街の賑わいの創出に努めています。

11月8日の点灯から2025年1月末まで、海浜幕張駅南口・北口を明るく華やかに照らし続けました。

主 催 幕張新都心イルミネーション実行委員会
 ※実行委員長：当社代表取締役専務
 （幕張メッセ関連企業懇談会、幕張新都心ホテル協議会、ちば国際コンベンションビューロー、千葉市観光協会、東日本旅客鉄道 千葉支社 海浜幕張駅、幕張新都心まちづくり協議会、幕張ベイタウン自治会連合会、千葉県、千葉市）

点灯期間 2024/11/8～2025/1/31



スイス・クリスマスマーケット in マクハリ 2024

千葉市と姉妹都市であるスイス・モントルー市の冬の風物詩でもあるクリスマスマーケットを、在日スイス大使館の協力の下、千葉市及び地域の企業と連携し、海浜幕張駅の駅前広場を中心に開催しました。

3日間で約1.6万人が訪れ、スイス料理やスイス雑貨等の飲食・物販ブースやクリスマスを祝うステージイベントなどで賑わいました。

主 催 クリスマスマーケットinマクハリ実行委員会
(幕張新都心まちづくり協議会、三井アウトレットパーク幕張、幕張ベイタウン自治会連合会、幕張メッセ、千葉市)

開催期間 2024/12/13～12/15



幕張ビーチ花火フェスタ2024 (第46回 千葉市民花火大会)

幕張新都心の夏の風物詩となっている幕張ビーチ花火フェスタ2024に実行委員として参画し、市内外からの来訪者が親しめる賑わいのある海辺の創出に寄与しています。また、幕張メッセ駐車場の一部を観覧席として活用しています。

主 催 千葉市民花火大会実行委員会
(千葉市、千葉商工会議所、千葉市観光協会、幕張メッセ、幕張新都心ホテル協議会、BAYFM)

開催期間 2024/8/3

幕張新都心クリーンの日、街なかオープンガーデン作戦

「幕張新都心まちづくり協議会」が主催する、清掃活動や歩道上の花壇の植替えのボランティアに積極的に参加しています。

「幕張新都心クリーンの日」は年2回開催され、幕張新都心のまちの景観を美しく保つことで、住民や来街者にとって心地よい環境を提供しています。

また、「街なかオープンガーデン作戦」も年2回開催され、国際大通りのプランター花壇の植替えをすることで、緑の街路樹とマッチした美しいまちを形成し、見る人の心を和ませています。



施設機能維持・利用者の安全安心 及び利便性向上等の取組み

千葉県と連携した施設の改修について

国際展示場を所有している千葉県と連携し、適時・適切に施設の改修等を行い、利用される皆様の利便性の向上を図っています。当年度は、以下の取組みを行いました。

・国際展示場の高天井照明のLED化

当施設では、省エネルギー化及び環境負荷低減を図るため、照明のLED化を進めており、国際会議場の一部で既に導入済みです。当年度には、国際展示場7及び8ホールを約3か月間貸し止めし、受変電設備の更新、高天井照明を従来のHIDランプからLED照明へ更新するなどの工事を実施しました。これにより、消費電力の低減等とともに、点灯までの時間の短縮、照度アップ、演色性の向上などが実現できました。



・駐車場の区画幅拡張

利便性向上等の観点から駐車場の区画幅を、従来の2.25メートル幅から2.5メートルに拡張しました。併せて横断歩道の白線の引き直しを行いました。

・中央モールにスポットクーラーを導入

ここ数年の夏場の高気温は厳しさを増しています。前年度に国際展示場中央モールにスポットクーラーを試験導入したところ、一定の効果が認められたことから、当年度には4台導入しました。

コンビニエンスストアがオープン

4月に、国際展示場2階1ホール前の売店を改修し、出来立ての手作り弁当、おにぎり、サンドウィッチ等を調理できる厨房設備を併設したコンビニエンスストア「デイリーヤマザキ 幕張メッセIII店」がオープンしました。



レストランのリニューアル

国際展示場2階1ホール前レストランが、9月に「ROYAL KITCHENS! (ロイヤルキッチンズ!）」としてリニューアルオープンしました。店内には新たにカフェカウンターを設置し喫茶利用のニーズに対応、またカウンター席にはコンセントを敷設し、店内で提供しているフリー Wi-Fiと共に、ビジネスシーンでの利用にも対応しています。



幕張メッセホームページに「360VRツアー」の導入

幕張メッセホームページ内にて幕張メッセ施設内をヴァーチャルで巡ることができる「360VRツアー」の運用を開始しました。「360VRツアー」は、幕張メッセ内の各施設内及び共用部など約550ヵ所をヴァーチャル上で360度方向24時間いつでも高精細な画像で閲覧できる新機能です。

さらに、当施設を利用する主催者のみが閲覧できる「360VRツアー Pro」は、イベントで使用する搬入出動線や控室などのバックヤードを含む約1,350ヵ所の閲覧が可能となり、利便性向上・準備負担軽減に大きく寄与するものです。現地視察の代替にVRを活用することで、CO2の排出軽減、関係者の労働生産性向上など、SDGsに貢献してまいります。



消防訓練等の実施

利用者及び近隣の皆様の安全安心に貢献すべく、当施設では毎年、当社の役員・社員に加えて施設内で勤務されている関係事業者の皆様に参加いただき、火災等に対応する訓練を実施しています。

6月にAEDを使用した救命講習会を開催し、11月には千葉市美浜消防署の指導の下、秋季消防訓練を実施しました。

秋季消防訓練では、幕張イベントホールにおいて、音楽イベントの開催中に東京湾北部を震源とする地震と火災の発生を想定し、来場者避難誘導、初期消火訓練、負傷者の応急処置訓練等を行いました。

(秋季消防訓練の様子)



幕張メッセ開業35周年記念パーティーの開催

10月21日に、当社国際会議場にて開業35周年記念パーティー「ありがとう！祭り」を開催しました。

社員によるプロジェクトチームが企画制作し、地元食材をふんだんに使用した各種料理、縁日横丁、地元高校書道部による書道パフォーマンス、ものまね芸人によるショーなどでおもてなしました。

これまでにお世話になった主催者、施工・運営会社、施設関連会社、周辺企業の方々等約500名の参加をいただきました。



SDGsの取組み

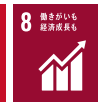
「持続可能な開発目標（SDGs）」については、当社でも、世界から選ばれる展示会会場として、また、千葉県のシンボリックな施設として、かねてから、この17の目標に繋がる行動を実践してきました。

今般、本レポートを作成するにあたり、当社で実施してきた様々な取組みを「SDGsの視点」から捉え直しました。今後とも、この取組みをさらに拡充してまいります。

展示会・学会開催を通じた取組み

既述のとおり当社及び当施設は、多様な「出会い」及びその場を創出すること並びにその外部波及効果等を通じて、立地するエリアのみならず広域の経済振興や各産業の発展機会の提供に貢献しています。更に、当施設で開催される展示会等を通じて周辺等に及ぼす効果として、次のような例が挙げられます。

- 一部展示会等において、学校を通じた展示会への来場案内や学生を対象とした業界セミナー等が行われており、これらを通じて学生の職業意識の醸成や各産業分野に対する理解の促進、更には各産業分野における人材育成に貢献しています。
- 一部医療学会等において、一般の方も受講可能な市民公開講座が開催されており、これらを通じて、地域における医療・健康への意識向上や理解促進に貢献しています。
- 当施設で開催される環境啓発イベントを通じて、来場者等への環境意識向上などに貢献しています。



様々な人が利用しやすい施設へ

- 車椅子利用者向けに、施設内及び周辺エリアのバリアフリーマップを策定するとともに、幕張メッセ駐車場に障害者用駐車スペース（51台分）や中央ロータリーに障害者用乗降スペースを用意しています。また、展示場、会議場及びイベントホールにオストメイト対応トイレを設置するなど、障害のある方も利用しやすい施設を目指しています。
- AED（自動体外式除細動器）10台を、施設内各所に配置しており、緊急時に活用できるよう社員に対する講習会も開催しています。



環境負荷の低減

- 環境エコロジー対策として、施設内カーペット更新時に、カーボンオフセット（リサイクル材使用）商品を積極的に採用しています。
- 施設の照明を順次、水銀灯からLEDへ切り替えることにより、利用者の利便性を向上しつつ、省エネルギー化を進めています。（詳細は前章をご覧ください。）
- 下水処理水を高度処理し、中水として水洗トイレ洗浄水に再利用することで、環境負荷の低減を図っています。
- オンラインミーティングや施設内VRツアーを積極的に活用し、移動時に発生する環境負荷の低減を図っています。また、対面でのミーティングにおいてもタブレットを活用することで紙使用量の削減を図っています。
- 地産地消のメニューを提供し、環境負荷の低減と地域社会経済への貢献に努めています。



災害対策

- 大規模災害発生時には、千葉市指定の帰宅困難者の一時滞在施設として約2,800人の受け入れを想定し、食料やアルミブランケットを備蓄しています。また、来場者が帰宅困難となった場合を想定した備蓄も行っています。一定期間を経過した備蓄食料はフードバンクへ寄付し、フードロスが生じないように取り組んでいます。



地域貢献活動

- P10「5 地域貢献活動」をご覧ください。



働きやすい職場環境と社員の意識醸成

- フルフレックスタイム制や在宅勤務の導入など、社員がライフスタイルに合わせて多様な働き方を実現できる職場環境の整備を進めています。
- 性別に関係なく活躍できる職場環境づくりを進め、常勤役員・管理職に占める女性の割合は20.6%となっています。（2025年3月31日現在）
- 全社員向けのオンライン研修を導入し、SDGsに関する講座を全社員必須研修に位置づけ、SDGsの理解増進を図っています。



会社名

株式会社 幕張メッセ（英文名称：Makuhari Messe, Inc.）

1986年4月30日 会社設立登記（4月24日創立総会開催）

※2005年7月1日「株式会社 日本コンベンションセンター」から商号変更

所在地

〒261-8550 千葉県美浜区中瀬 2-1

TEL：043-296-0001（代） FAX：043-296-0529

沿革

1986年4月	会社設立（株式会社 日本コンベンションセンター）
1989年10月（9日）	施設オープン（国際展示場 展示ホール1-8、国際会議場、幕張イベントホール）
1989年10月	東京モーターショー開催
1997年10月	新展示場（国際展示場 展示ホール9-11）オープン
2005年1月	開業以来の累計来場者数が1億人を突破
2005年7月	現社名（株式会社 幕張メッセ）となる。
2021年7月～9月	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において競技会場となる。

経営理念

- ・我が国コンベンション産業のパイオニアとして、ハード・ソフト共に世界に通用する施設を目指す
- ・地域の経済発展に貢献し、共生を目指す

事業内容

- ・内外商品等の見本市、展示会の企画、誘致及び開催
- ・国際・国内会議及び文化、スポーツ等各種催物の企画、誘致及び開催
- ・国際展示場、国際会議場、幕張イベントホール及びこれらに附帯する施設の賃貸及び運営管理
- ・駐車場の運営管理
- ・国際展示場、国際会議場、幕張イベントホール及びこれらに附帯する施設における飲食店、売店等利便施設の経営
- ・内外の経済、社会、産業情報の調査、分析及び提供
- ・展示装飾機器、事務機器及び什器備品のレンタル業
- ・旅行業、広告代理業及び運送代理店業
- ・上記に附帯する一切の事業

資本金 40億円

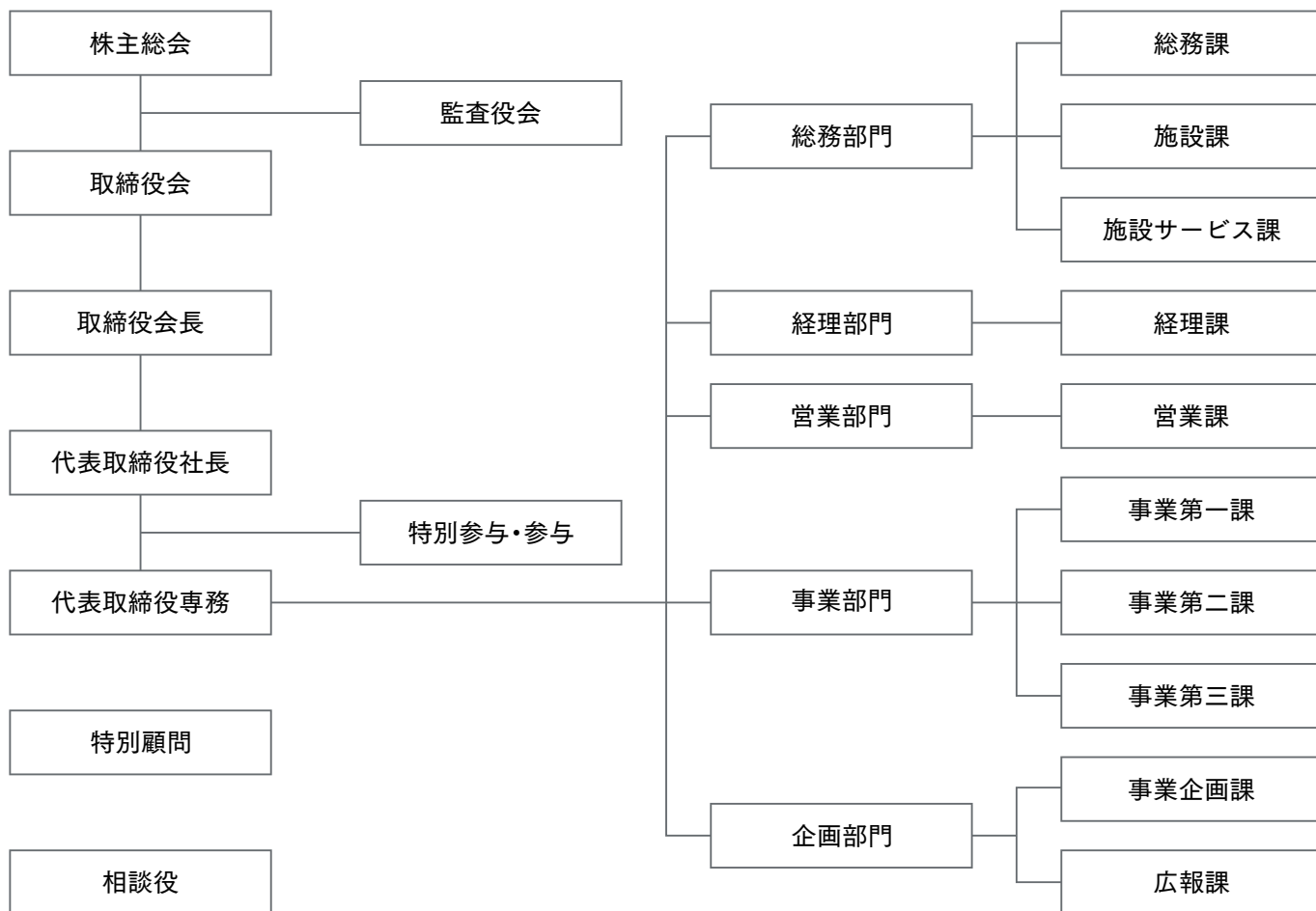
大株主（2025年3月31日現在）

株主名	出資額（百万円）	割合（％）
千葉県	1,000	25.0
株式会社 日本政策投資銀行	800	20.0
千葉市	500	12.5
日本製鉄 株式会社	120	3.0
J F E スチール 株式会社	100	2.5
東京瓦斯 株式会社	100	2.5
東京電力エナジーパートナー 株式会社	100	2.5
一般社団法人 日本自動車工業会	100	2.5
東日本電信電話 株式会社	100	2.5
千葉県中小企業団体中央会	75	1.9

役員（2025年6月27日現在）

役職名	氏名	主な現職
取締役会長	進藤 孝生	日本製鉄 株式会社 相談役／ 一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会 会長
代表取締役社長	今清水 浩介	
代表取締役専務	添谷 進	
常務取締役 事業本部長	上原 美智代	
常務取締役 企画本部長	加瀬 秀行	
常務取締役 営業本部長	児玉 賢治	
常務取締役 経理広報本部長	大和 弘明	
取締役（非常勤）	長尾 尚人	一般社団法人 電子情報技術産業協会 代表理事専務理事
	佐久間 英利	一般社団法人 千葉県商工会議所連合会 会長
	黒野 嘉之	千葉県副知事
	高橋 信行	一般社団法人 日本自動車工業会 理事・事務局長
	飯塚 真太郎	千葉県中小企業団体中央会 会長
	中嶋 哲也	一般社団法人 日本電機工業会 専務理事
	橋本 直明	千葉市副市長
	清水 精太	東京瓦斯 株式会社 常務執行役員CDO
常勤監査役	山本 昇	
監査役（非常勤）	寒郡 茂樹	千葉県商工会連合会 会長
	山崎 清美	株式会社 千葉銀行 代表取締役専務執行役員

組織図（2025年7月1日現在）



従業員数 51人（2025年7月1日現在）

損益財政狀況

貸借対照表の要旨

(2025年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	4,668	流動負債	989
固定資産	5,256	固定負債	135
有形固定資産	3,700	退職給付引当金	98
無形固定資産	7	その他	36
投資その他の資産	1,548	負債合計	1,124
		株主資本	8,800
		資本金	4,000
		利益剰余金	4,800
		その他利益剰余金	4,800
		純資産合計	8,800
資産合計	9,924	負債・純資産合計	9,924

損益計算書の要旨

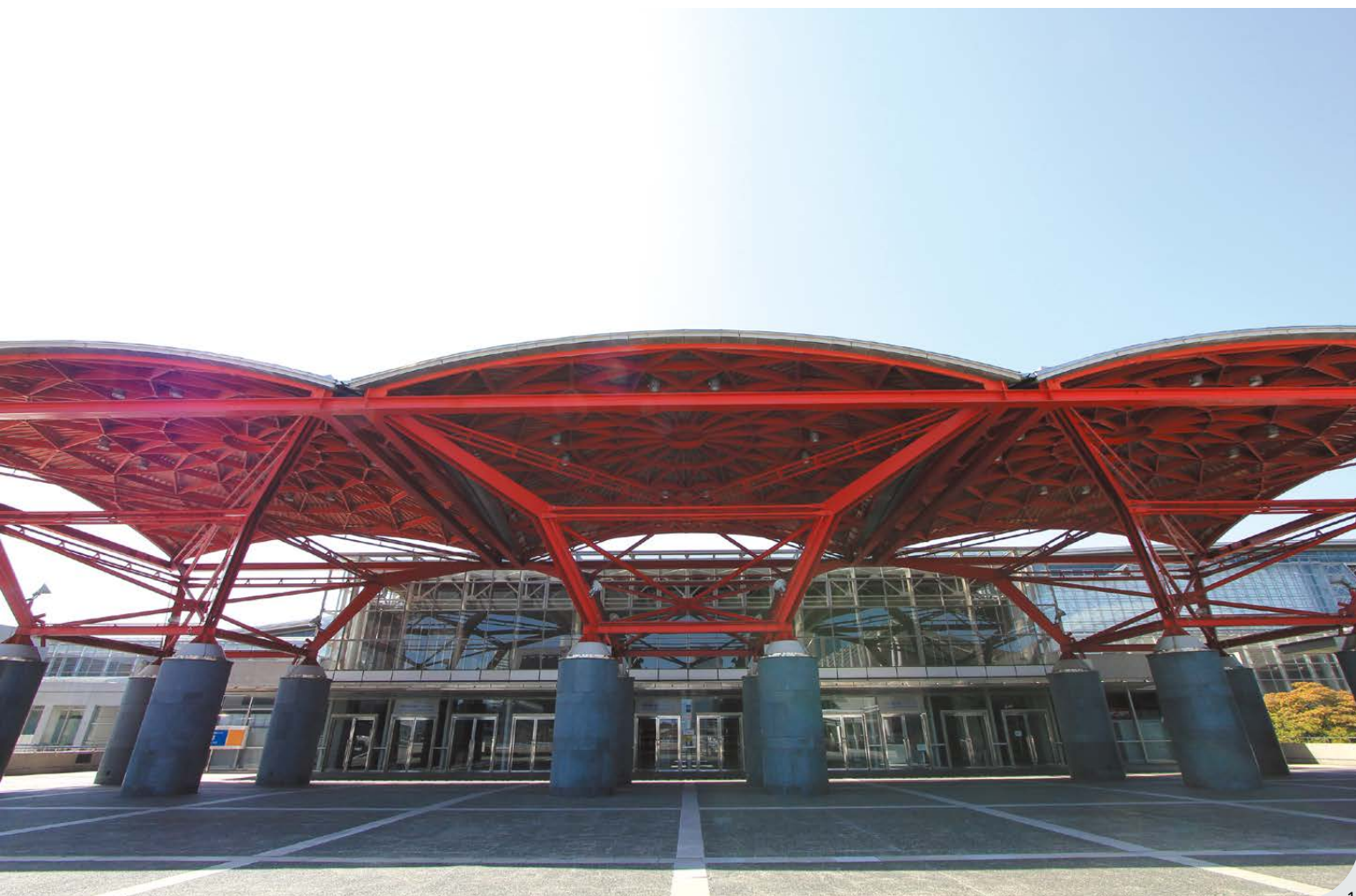
(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	5,412
売上原価	4,024
売上総利益	1,387
販売費及び一般管理費	889
営業利益	498
営業外収益	5
営業外費用	0
経常利益	503
特別利益	3
特別損失	9
税引前当期純利益	498
法人税、住民税及び事業税	155
法人税等調整額	1
当期純利益	340

施設概要

施設 敷地面積	217.2千㎡（千葉県所有）
総延床面積	169.9千㎡（附帯施設含む）
延床面積	国際展示場（千葉県所有） 展示ホール1-8：99.1千㎡、展示ホール9-11：37.2千㎡
	国際会議場：16.7千㎡、幕張イベントホール：15.6千㎡（共に当社所有）



株式会社 幕張メッセ

〒261-8550 千葉県美浜区中瀬2-1

TEL:043-296-0001(代) FAX:043-296-0529

<https://www.m-messe.co.jp>

